

休み方の「意識調査」結果

対象県民1,000人の方に聞きました

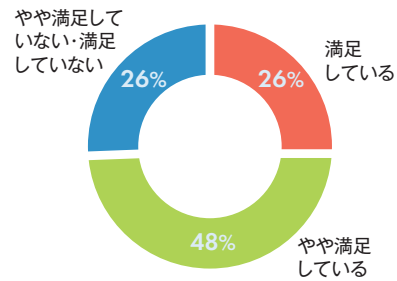


東海・信静
エリアから
こんな声が!



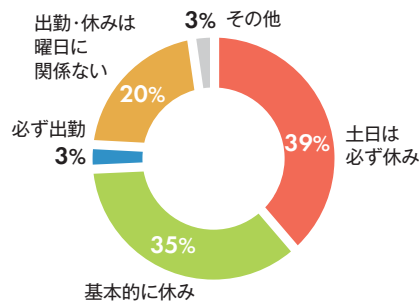
Q1

あなたは自身の子とも
過ごす時間の長さに
満足していますか



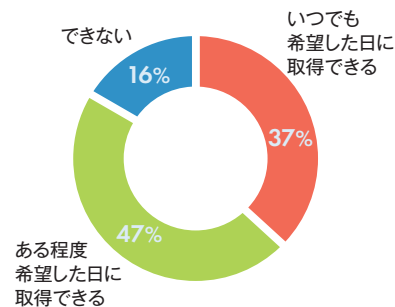
Q2

普段土日に出勤することは
ありますか



Q3

有給休暇を希望した日に
取得することができますか



出典:愛知県休み方改革プロジェクト調査結果(2025年)

愛知県も同様の課題を解決するべく 休み方改革を進めています!

「県民の日学校ホリデー」・「ラーケーションの日」への声



普段出掛けるにしても人が多い休日になってしまい、なかなか子供と満足する休暇が難しい。親も仕事があり休暇が取りにくかったりするので、県としてこういった動きがあれば世の中の理解が深まり、子供と一緒に学びの時間が取れそう。



最近の子供は簡単に出来る検索や動画視聴で済ませて満足してしまうような傾向がみられるため、きちんと五感で体験して学んで欲しい、それが出来る場所が身近にあると良いと思う。

「あいちスキ旅キャンペーン」への声



休日はどこに行っても混雑しているので独自で休日を作ってくれと出掛けやすい。



県内にまだ行ったことのない場所がたくさんあり、こういうキャンペーンがあれば思わぬ発見があり楽しめそう。

出典:愛知県休み方改革プロジェクト調査結果(2025年)

休み方改革のより詳しい内容・実績はこちら

愛知県政策企画局企画調整部地方創生課
観光コンベンション局観光振興課

〒460-8501名古屋市中区三の丸3-1-2
Tel:052-954-6353 Mail:kanko@pref.aichi.lg.jp



愛知県
「休み方改革」PRサイト



愛知県「休み方改革」
プロジェクト特設サイト

地域経済の
起爆剤に!



東海・信静エリアから

休み方

変えてみませんか?



休み方を工夫すると
地域経済の活性化につながる!



- ✓ 観光需要の分散化による、満足度の向上
- ✓ 平日需要の創出で地域産業の売上が安定
- ✓ 企業の業務効率化、従業員満足・採用力の向上

全国に先駆けて「休み方改革」に取り組んできた、
愛知県の事例と成果をご紹介します



愛知県「休み方改革」の取組

あいち県民の日・
あいちウィークを契機とした
「休み方改革」の推進



家族と子どもと一緒に
過ごせる仕組みづくり

ラーケーションの目
県民の日学校ホリデー



休暇を取得しやすい
職場環境づくり



平日や閑散期への
観光需要のシフト



地域が一体となった
「休み方改革」の推進



平日の観光需要が増加

県内

市町村や民間企業と
連携して
様々な事業が展開

名古屋鉄道株式会社 事例
「あいちウィーク」の平日に
利用が可能な小児用の
「県民の日 電車バス乗り放
題きっぷ」を150円で発売



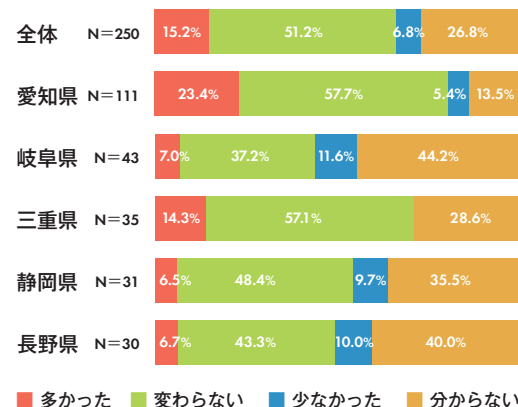
県外

愛知・岐阜・三重・
静岡・長野の
宿泊施設(15.2%)で
「あいちウィーク」中の
平日(11/22,25)の
愛知県客が増加



【平年との比較】

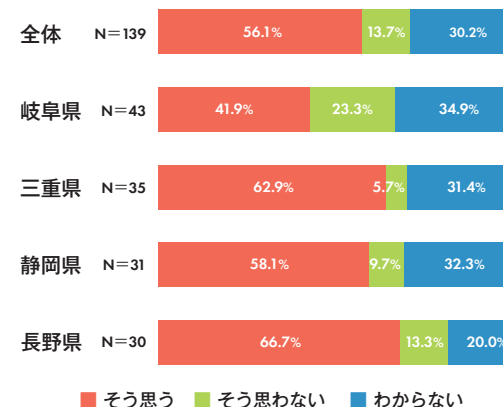
Q. 2024年の11/22と11/25の愛知県民の宿泊者数は
2022年以前の平年値と比べていかがでしたか。



■ 多かった ■ 変わらない ■ 少なかった ■ 分からない

【所在県での同様の取組の希望】

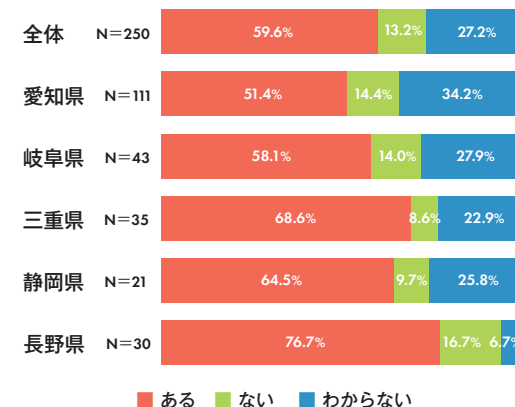
Q. 貴施設所在県でも「あいちウィーク」や「県民の日学校
ホリデー」のような取組を行ってほしいですか。



■ そう思う ■ そう思わない ■ わからない

【相互送客の取組の意向】

Q. 貴施設所在県と隣接県との間で、平日の宿泊を相互に
呼び掛け、送客しあう取組に関心はありますか。



■ ある ■ ない ■ わからない

出典:「あいちウィーク」の観光面における効果に関するアンケート調査結果(2024年度)

▶ 隣接県との相互送客の取組に
関心がある宿泊施設

約60%

▶ 地元の県でも「あいちウィーク」や「県民の日学校ホリデー」
のような取組を行ってほしい施設

約60%

① 各県ウィークにあわせたプロモーションの展開

県を越えた広域的な視点でプロモーションを展開。地域の観光資源や文化、食などの魅力を発信し、
県境を越えた人の往来を促進することで、旅行需要の創出を図る。特定地域に偏らない持続的な交流につなげる。

まずは中部から

遠くを目指す前に
まずは近隣県の観光地へ!



② 都道府県ウィーク創設に向けた機運醸成

日本全体で休暇を分散化し、それぞれの市民が相互に行き来するようになれば、
観光産業に限らず日本経済の活性化に。地域の皆様への周知、旅行業・飲食業など関連業界へ働きかける。

東海・信静が連携し、
分散型の
観光ウィークを設定

観光需要の拡大により、
地域の観光を通じた
経済が活性化

全国へ展開

全国47都道府県で
ウィーク設定

年間52週のほとんどで
平日の観光需要の拡大